STAGE3到達目標

生徒氏名：

レッスン開始日：　　年　　月　　日

評価期間：　　年　　月　　日～　　月　　日

評価日：　　年　　月　　日

【評価基準】

S：目標を大幅に上回っている　A：目標を上回っている　B：目標を概ね達成している　C：目標をやや下回っている　D：目標を下回っており、大幅な改善が必要

スキル		達成目標		学習内容、題材	評価	特記事項
ReadingーStandards for Foundational Skills ABCや音韻、フォニックスといった活字の基本的なルールを学習します。以降、生徒が多種多様なテキストを読解できるようになるために、きちんと理解しておきましょう。	**Print Concepts** 活字の概念	1	英文活字における基本的なルールを理解することができる。	・Capitalization of Proper Noun, Common Noun ・Punctuation marks, Question marks, Exclamation marks		
	Phonics and Word Recognition フォニックスと単語の認識	2	Inflectional endings（屈折語 :ed/s,es/ing）のついた単語を読むことができる。	・ Subject Verb Agreement ・Past Tense　・Future tense ・Present Continuous　・ Gerunds		
		3	Phonicsのルールに則さないつづりの難しい単語を認識し、読むことができる。（例: friends, straight, earth, cycle, journey）			
	Fluency 雄弁さ	4	年齢に適した文章を意欲的に読み、理解を示すことができる。			
		5	年齢に適した文章を正確且つ適切に、感情を込めて読むことができる。			
		6	知らない単語が文中にでてきても、文脈から読み方や意味を推測しながら読み進めることができる。			
ReadingーStandards for Literature &　Informational Text 生徒が出来るだけバラエティーに富んだ多くの文章に触れる機会をつくりましょう。徐々に複雑な文章にも慣れていくようにします。	**Key Ideas and Details** 概要と詳細	7	講師の助けを得ながら、物語・詩・情報を含む文章（ノンフィクション）の要旨について、質問したり質問に答えたりすることができる。	・ Simple Present - Interrogative ・Why～Because ・ Speaking Practice ： Sharing ideas and information		
		8	講師の助けを得ながら、物語・詩・情報を含む文章（ノンフィクション）を再現して話すことができる。 またその際、要点がきちんと含まれている。	・5W1H ・ Conjunctions ・ Speaking Practice ： Sharing ideas and information		
		9	講師の助けを得ながら、物語の登場人物や場面設定、主な出来事を認知することができる。	・5W1H ・ Speaking Practice		
		10	講師の助けを得ながら、他者・二つの異なる出来事・二つの異なる考え方・二つの異なる情報について関係性を説明することができる。	・5W1H ・ Conjunctions ・ Speaking Practice ・The Comparative Degree, The Superlative Degree		
	Integration of Knowledge and Ideas 知識と考えの融合	11	講師の助けを得ながら、物語・詩・情報を含む文章（ノンフィクション）に出てくる絵と文章を結びつけることができる。			
		12	講師の助けを得ながら、登場人物毎の立場や出来事を比較することができる。	・5W1H ・ Speaking Practice ・The Comparative Degree, The Superlative Degree		
		13	講師の助けを得ながら、情報を含む文章（ノンフィクション）について著者の主張の裏付け（なぜそう考えるか）を認知することができる。	・ Speaking Practice ・Why～Because		
Writing ライティングに必要な様々なスキルを習得します。徐々に語彙や構文も洗練され、自身の考えも的確に表現できるようになることを目指します。	**Text Types and Purposes** 多様な文章の形とその目的	14	あるテーマについて、簡単に好き嫌いや意見を書くことができる。 （例: “I would like to go to the fire station to see the truck and meet the firemen.”）	・Writing Practice：Opinion Pieces		
		15	あるテーマについて、絵や口述を交えて表現することができる。 （例: 秋に植えたチューリップの球根について、その時の土の状態や使った道具、春になった時の楽しみな気持ちを表現する。）	・Writing Practice：Informative / Explanatory texts		
		16	絵や文章を交えて簡単な物語を書くことができる。	・Writing Practice：Narratives		
		17	短い物語、物語調の詩、日記、リスト、メモ、手紙など、様々な種類の文章について簡単なものを書くことができる。	・Writing Practice: Genre writing		
		18	絵や文章、口述を交えながら、読んだ本の表題やテーマ、内容に関する意見や好き嫌いを表現する作品をつくることができる。 （テーマの例 :How to Play Football）	・Writing Practice：Opinion Pieces		
		19	一つまたは複数の関連する出来事や体験について、絵や文章、口述を交えながら表現することができる。 その際、適切に順序立てて語ることができ、自分の感情に関する記述も含んでいること。	・Writing Practice：Opinion Pieces ・First, Next, Then, Finally（Stage2）		
	Production and Distribution of Writing 文章制作と共有	20	講師の助けを得ながら、質問に答えたり助言を聞いたりしながら文章により詳細な記述を加え、洗練させていくことができる。	・Writing Practice ・Why～Because ・ Simple Present - Interrogative		
		21	語彙力を発揮しながら文章を書くことができる。 語彙については、コモンコアのLanguage Standards-Vocabulary Acquisition and Use参照	・ Verb Practice　/ Adjective Practice ・Writing Practice		
	Research to Build and Present Knowledge リサーチ能力と知識の蓄積	22	講師の助けを得ながら、過去に体験したことや渡された情報を元に、質問に答えることができる。	・5W1H ・Past Tense ・Writing Practice		
	Range of Writing 多角的に書く	23	多種多様なテーマで目的・相手にあった言葉選びをして、日常的に文章を書くことができる。	・ Imperative Verb （Modals of Advice: May, Can. Have to, etc) ・Writing Practice		
		24	見聞きしたこと、体験したことについて説明することができる。 その際、時制を意識しながら説明することができる。	・5W1H ・ Past Tense ・ Speaking Practice		
		25	馴染みのあるトピックについて、異なる相手と会話することができる。	・ Speaking Practice		
		26	遊びやロールプレイの中で役になって会話を続けることができる。 （例：電話で話すまねをする、店員さんとお客さんのやり取りをまねするetc）	・Role-Play		

Speaking and Listening 様々なトピックについて自ら話したり、講師と質疑応答も含めて会話できることを目指します。	**Comprehension and Collaboration** **読解力と協調性**	**27**	口述された、もしくはメディアで再生された文章を理解することができる。その際、質問をしたりそれに答えたりする中で要点を掴んだり、不明点について説明を求めたりすることができる。	・Why～Because ・ Simple Present - Interrogative		
		28	講師からヒントをもらったり、分からないこと・不明瞭なことについて情報収集したりするために、質問・回答することができる。	・Why～Because ・ Simple Present - Interrogative		
	Presentation of Knowledge and Ideas 知識や考えのプレゼンテーション	**29**	馴染みのある人物・場所・物・出来事について説明ができ、講師の助けを得ながら詳細な情報を付与することができる。	・Why～Because ・ 5W1H		
		30	必要に応じて文章に絵や図を足して、詳細な情報を加えることができる。			
		31	自分の考えや気持ち、アイディアを口に出してはっきりと伝えることができる。	・ Speaking Practice：Sharing ideas and information, Public Speaking		
Language Standards 文法や文章の構造を意識して話すことができるようになります。また語彙を増やし、自分で使えるようになることを目指します。	**Conventions of Standard English** **英語の基本の理解**	**32**	知っている単語を使って、フルセンテンスをつくったり、応用したりすることができる。 フルセンテンスとは語彙が抜けていない・語尾まできちんと話せていることを示す。	・ Sentence Scramble		
		33	5W1Hを理解し、使用することができる。	・ 5W1H		
		34	Yes/Noで答えられる質問ではなく、情報を聞き出すための質問をすることできる。	・Why～Because ・ Simple Present - Interrogative		
		35	単数形・複数形両方の名詞を適切な動詞とともに用い、文章をつくることができる。	・Count vs Non-Count Nouns ・Quantifiers		
		36	アポストロフィー+ s を使うことができる。	・Possessive Apostrophes		
		37	Personal Pronouns（主語:I・所有格:Me等）、Possessive Pronouns（所有代名詞:Mine等）、Possessive Adjectives（所有形容詞:My等）Indefinite Pronouns（不定代名詞:anybody, someone等）を使うことができる。	・ Possessive Pronouns ・ Possessive Adjectives		
		38	動詞の現在形・過去形・未来形を意識して使い分けることができる。（例：Yesterday I walked home; Today I walk home; Tomorrow I will walk home.）	・ Simple Present ・ Past Tense ・Future Tense		
		39	限定詞（demonstrative: this, that, these, those、冠詞: the, a, an、数量詞: a few, a little, much, many, a lot of, most, some, any, enough等）を使うことができる。	・Demonstrative Pronouns ・ Articles ・Quantifiers		
		40	4 types of sentences（平叙文・疑問文・命令文・感嘆文）の違いを意識して使い分けることができる。	・ Simple Present - Interrogative ・ Imperative Verb ・ Punctuation marks, Question marks, Exclamation marks		
		41	頻出する単語・ルールに則さないつづりの難しい単語の双方を正しくつづることができる。			
		42	頻出する形容詞・前置詞・接続詞を用いることができる。	・Adjective Practice ・Preposition of Time / Place / Directions ・Conjunctions		
	Vocabulary Acquisition and Use 語彙の獲得と活用	**43**	知らない単語の意味を明らかにしたり、複数の意味を持つ単語やフレーズについて、新しい使い方ができる。			
		44	知らない単語やフレーズが文中にでてきても、文脈から意味を推測することができる。			
		45	講師の助けを得ながら、頻出する動詞や形容詞について、その反対語を言うことができる。	・ Verb Practice ・ Adjective Practice		
		46	似た意味の動詞について、その微妙な違いについて正しく認識し、アクションで示すことができる。（例: walk, march, hike）			
		47	程度の異なる形容詞について、その微妙な違いについて正しく認識し、アクションで示すことがすることができる。（例large, gigantic）			
		48	レッスンで学んだ言葉やフレーズを文章にすることができる。			
		49	単語の原型と変形を認知することができる。 （例: look/looks/looked/looking）	・Simple Present ・ Past Tense ・Present Continuous ・ Subject Verb Agreement		